

第56号 令和6年度長崎市一般会計補正予算（第1号）

目次

【ページ】

7款1項2目 商工振興費

《歳出補正》

1 商店街人材育成・ネットワーク構築事業費補助金・・・・・・・・・・ 2～5

経済産業部
令和6年6月

予算説明書					事業名	補正予算額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	1-1	商店街人材育成・ネットワーク 構築事業費補助金	千円 1,250

1 現状(と課題)

商店街は、地域住民の買い物を支える商業機能を担っており、地域コミュニティの場でもあることから、地域のにぎわい創出や地域活性化の重要な役割を果たしている。

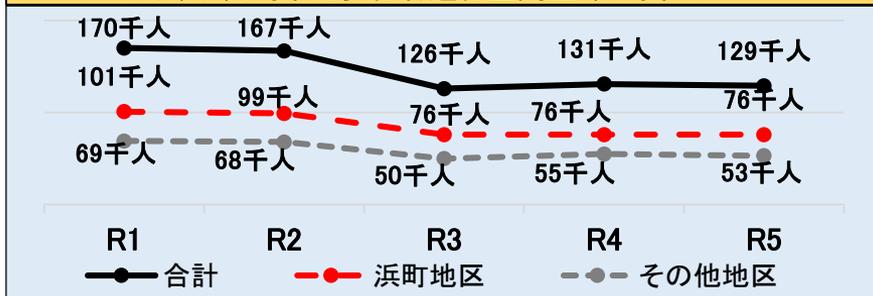
しかしながら、人口減少に伴う需要の縮小に加え、大型商業施設の進出やオンラインへの買い物手段の変容等により、商店街内の来街者は減少(参考1)している。また、商店街を組織する会員の加入率は年々減少傾向(参考2)にあり、会員不足や担い手不足は喫緊の課題となっている。

2 対応方針

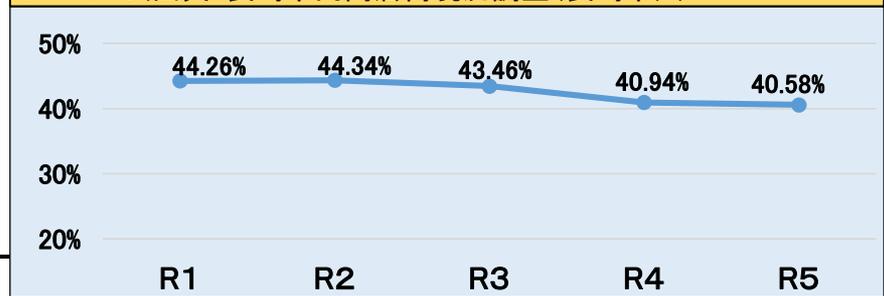
人口減少社会に対応する力強い商店街の創出を目的として、その担い手となる人材を育成し、商店街の体制を強化するため、これまで、関係機関と連携したセミナー開催などの人材育成事業や、商店街加入を条件とした空き店舗活用補助金による人材確保事業を実施してきた。

これらの事業に加えて、モデル商店街において、専門家による人材育成を行うとともに、その効果を他商店街に波及させるための連携体制構築事業を長崎県と協力して支援する。

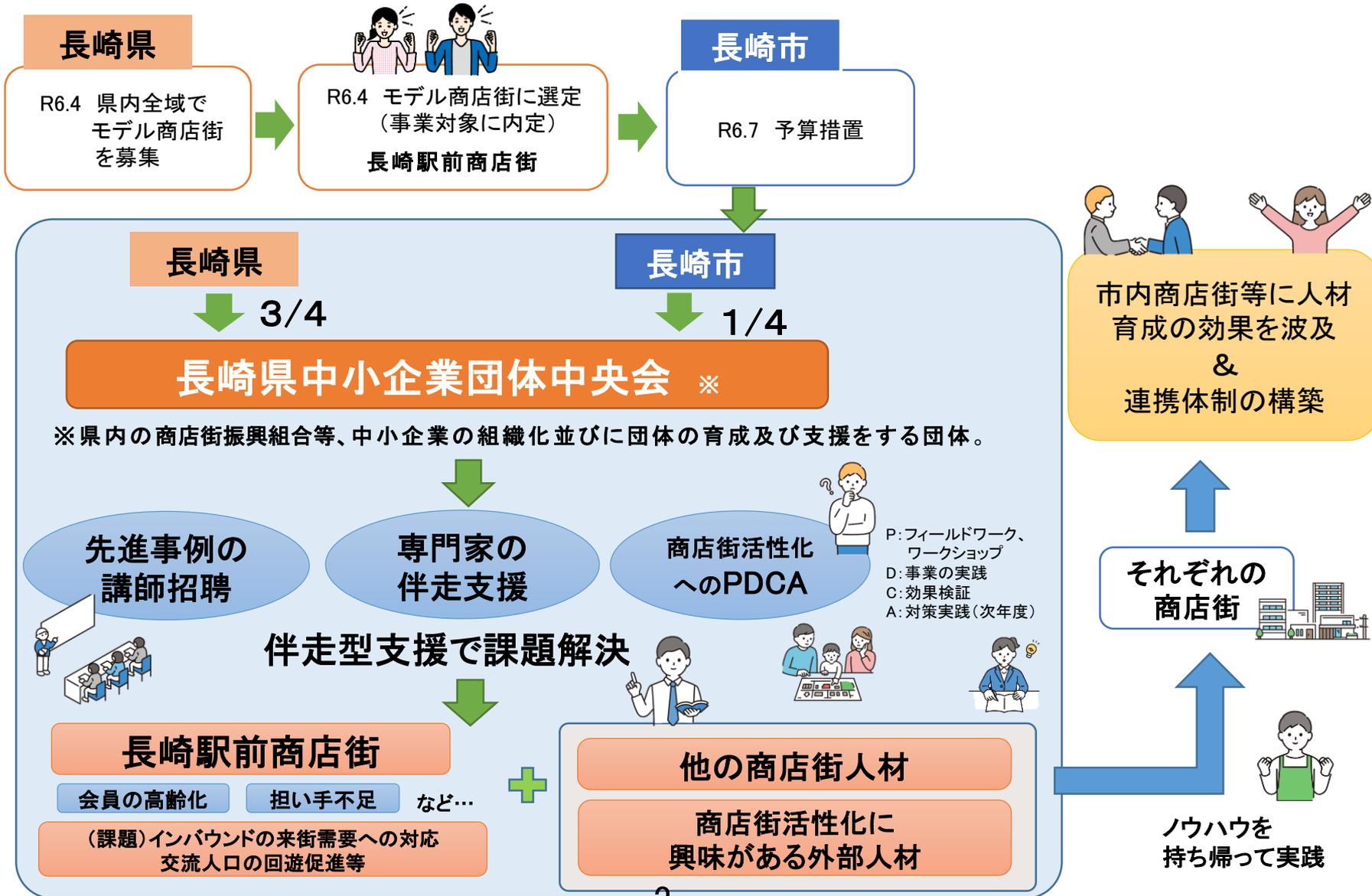
(参考1)直近5年間の長崎市内歩行者通行量(休日)
について(出典:長崎市内歩行者通行量調査(長崎市))



(参考2)直近5年間の長崎市内商店街の加入率
について(出典:長崎市内商店街現況調査(長崎市))



長崎県商店街人材ネットワーク構築等事業 スキーム図



商店街人材育成・ネットワーク構築事業費補助金 1,250千円

ア 補助対象事業

長崎県中小企業団体中央会が次のとおり実施する伴走型支援事業の費用の一部を長崎県と協力して支援する。

(ア) 伴走型支援を行う専門家の派遣

(イ) 商店街が抱える課題に合わせた先進事例の実践者の講話などを行う勉強会の実施

(ウ) 商店街活性化に向けたPDCAサイクルの実践

- ・商店街内の魅力や課題を整理するためのフィールドワーク
- ・課題解決に向けたワークショップ
- ・商店街活性化の計画策定やイベント等のモデル事業の実践
- ・アンケートなどによる効果検証

(エ) 以上の取組みへの、他の商店街や外部人材の参画

イ 補助対象者

長崎県中小企業団体中央会

ウ 補助率

補助対象経費(限度額5,000千円)の4分の1

(別途、長崎県から補助対象経費の4分の3を支援)

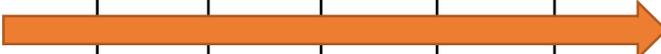
エ 補助限度額

1,250千円

オ 補助対象経費

報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料

4 スケジュール

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県	モデル商店街募集・選考 (内定:長崎駅前商店街)												
長崎県 中小企業 団体中央会	補助金の交付申請												
	他商店街等の人材募集												
	人材育成プログラム実施												
	事業報告会												
	実績報告書提出												

5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 1,250	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,250